

△特別雜種稅

稅目	稅額
段別割	六五九、二五七
觀覽稅	二九九、四七一
流木稅	二一〇、五六二
傭人稅	一七二、八一七
扇風器稅	一三八、一五八
立木伐採稅	七六、八九四
ソリ稅	六七、三六四
代書人稅	三六、八四四
軌道稅	三六、六六六
溫泉稅	三三、三二九
玉突臺稅	二三、二五五
遊漁稅	一一、二七五
給仕人稅	一九、七〇六

稅目	稅額
蠶桑賣買稅	一三、五八八
廣告稅	六、〇二五
搗碎器稅	四、一九二
瓦斯管稅	三、九一九
動力使用稅	三、六五七
牛洲稅	〇、九六六
潛水器稅	〇、六五〇
地中電線路稅	〇、一八一
鷄稅	〇、一四五
索道柱稅	〇、一〇二
珊瑚採稅	〇、〇二五
計	一、八三九、九二六
總計	五三、四三九、三七五

併し自轉車稅は、海濱を地方財政を潤してゐる重要な財源をなしてゐるが故に、地方の情勢によつては一時的に撤廢にまでは達し得ないかも知れない。がしかし、撤廢を目標として最少限度半減を主張すべきである。而して結局はこの惡稅の撤廢まで到達すべきを主張するのである。而してこれに代るべき財源に就ては、我が黨の政策、殊に府縣會議員選舉に臨むべく決定された政策中に明示する所の如くである。

四、自轉車が如何に日本に適するか

自轉車稅は暴稅である。一例をとつて考へて見よ！ 例へば同じく人を運び荷物を運ぶ汽船、こゝに假りに四千萬圓の汽船を持つ船會社があるとす。果してその船の爲めに一千萬圓の納稅を肯するや否や？ これはテンデ問題にならない話だ。併し自轉車は斯の如き租稅能力を發揮してゐるのである。然るに汽船はあべこべに久しく國庫からの補助を受けて來たのである。われわれは寧ろ、自轉車にこそ補助をして我が國にこの簡便なる交通機關を普及すべきだと思ふ。